

24 つまもと眼科の
めざせ生活
～レーシック治療コラム～

レーシック術後の
感染症

ある眼科で、レーシック術後に集団感染による角膜炎が発生したとの報道がありました。

手術に使う器具の滅菌ができていなかったことが原因のようですが、通常レーシック後の角膜炎の発生率は0・2%程度といわれており、コンタクトによる感染症よりも低いとされています。にもかかわらず、1割の患者で集団感染を起すというのは、よほどひどい環境で手術を行っていたとしか思えません。



つまもと眼科
津間本裕一院長

者で集団感染を起すというのは、よほどひどい環境で手術を行っていたとしか思えません。

滅菌ができていない器具で手術をすれば、どのような手術であれ感染症を起すのは当然です。このような意識で白内障などの目の中の手術を行えば、角膜炎どころか、もっとひどい状況となり多くの方が失明に至るでしょう。

この事件の背景には、レーシックが安全であることを医師自身が過信しすぎた結果、患者獲得のために手術料金をありえない金額にまで安くし、本来手を抜いてはならない安全管理にまでいき過ぎたコストダウンが及んでしまったことがあるのではないかと考えます。

▼Ogawa Clinic
つまもと眼科(西条岡町3〜25)